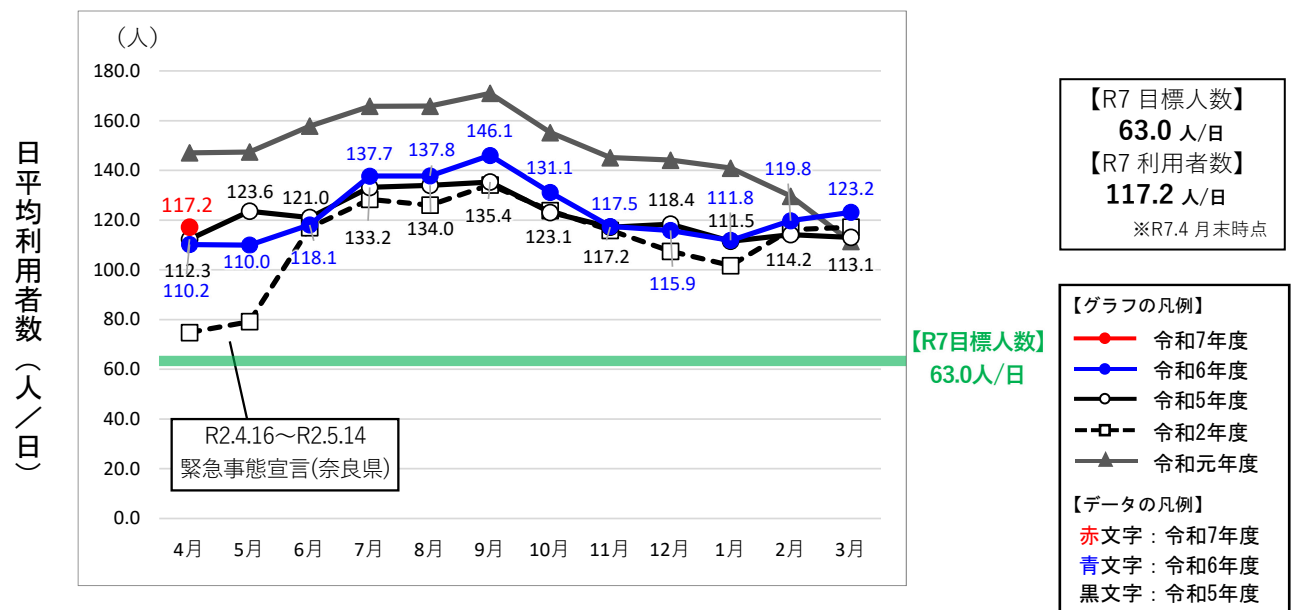


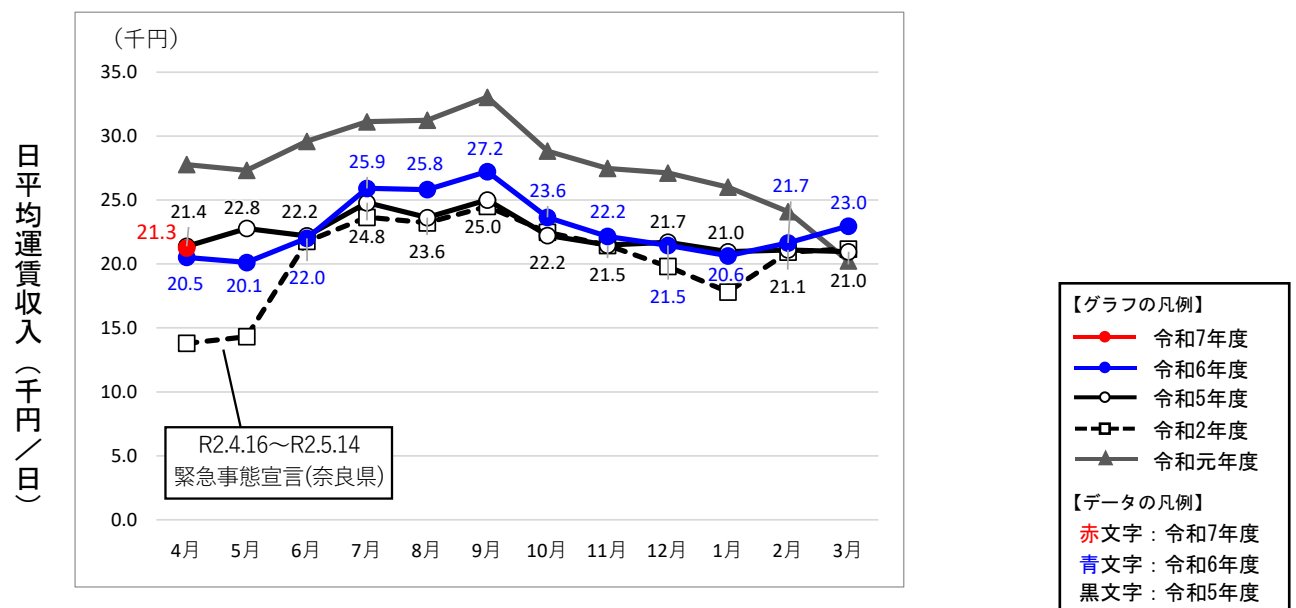
1. 光陽台線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、令和2年4月及び5月は新型コロナウイルスによる外出自粛の影響により大きく減少したが、緊急事態宣言が解除された令和2年6月以降は一部回復し、季節変動等の影響による増減を繰り返しつつ利用者数を維持している。令和7年1月以降は増加傾向にあり、令和7年4月は前年同月を上回っている。
- ・運賃収入（日平均運賃収入）は、利用者数と同様に、令和7年1月以降は9月までは増加傾向にあり、令和7年4月は前年同月を上回っている。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】

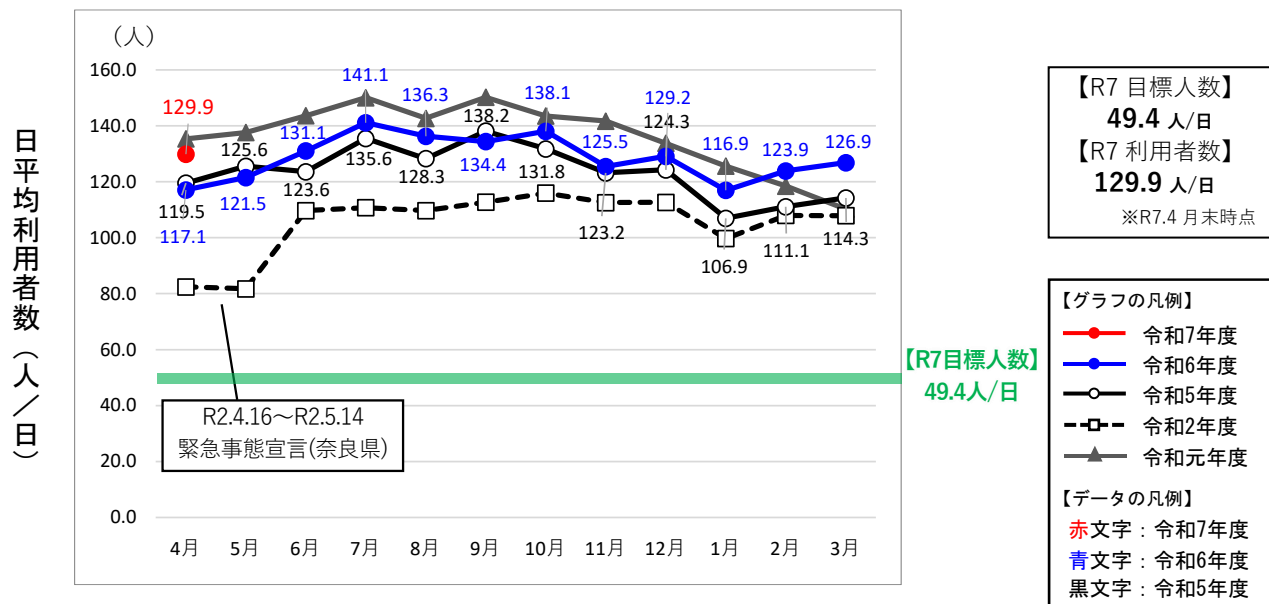


※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

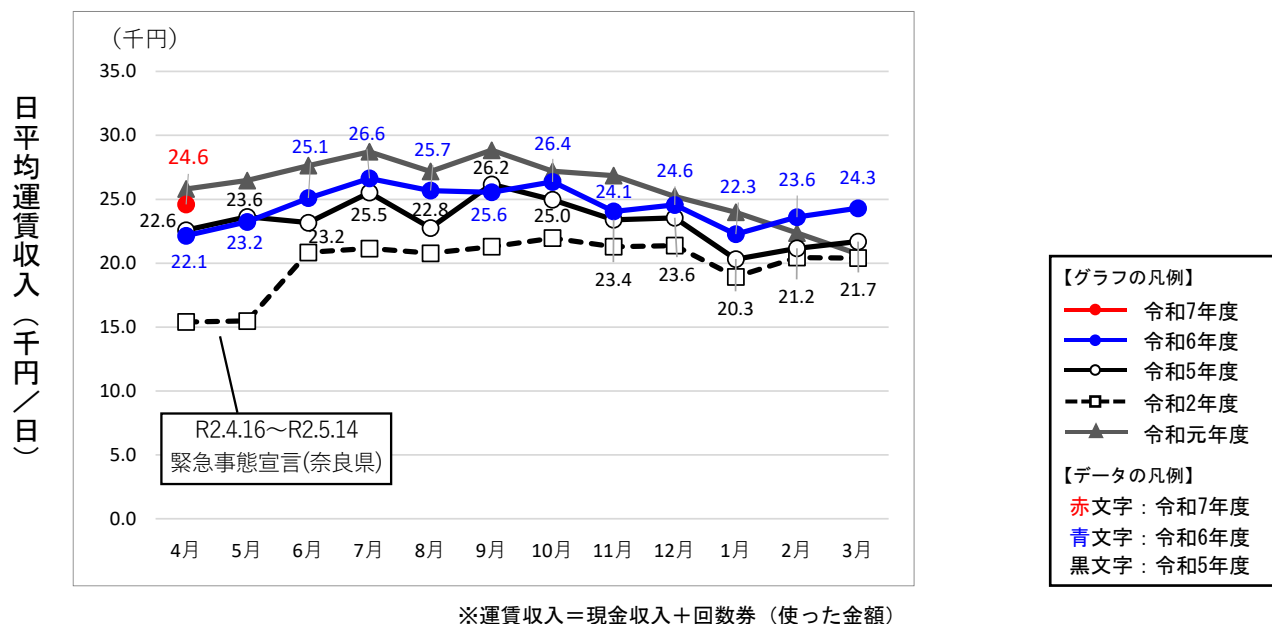
2. 門前線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、緊急事態宣言が発令された令和2年4月及び5月は大きく減少していたが、解除された令和2年6月以降は季節変動等の影響による増減を繰り返しつつ年々増加傾向にある。令和7年1月以降は増加傾向にあり、令和7年4月は前年同月を上回っている。
- ・運賃収入（日平均運賃）は、利用者数と同様に、令和7年1月以降は増加傾向にあり、令和7年4月は前年同月を上回っている。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



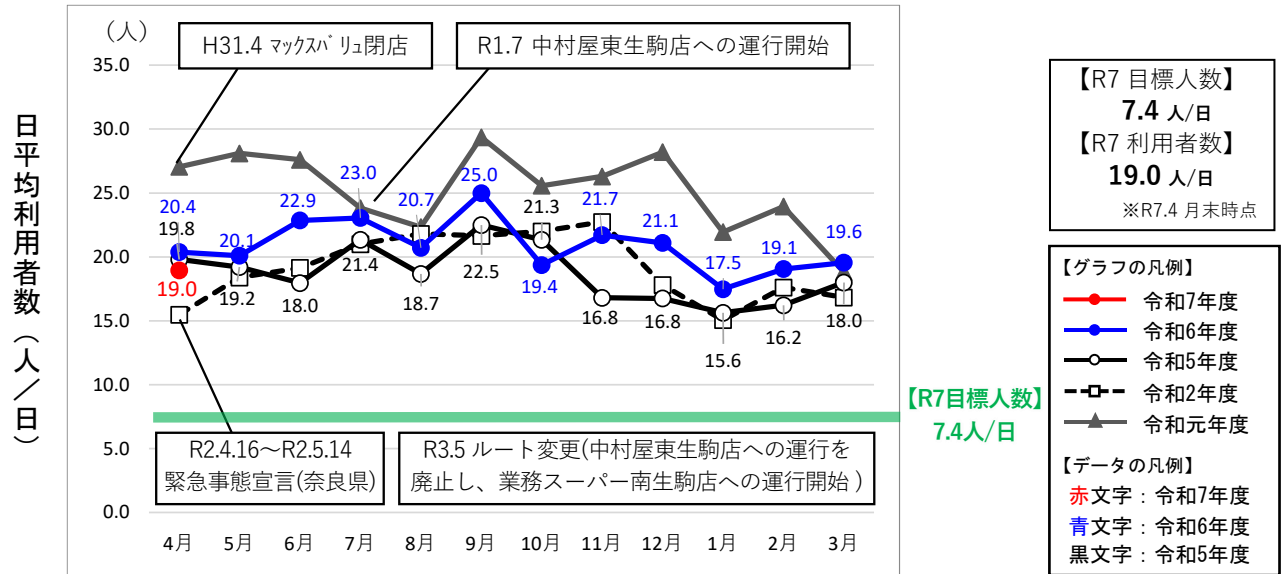
【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】



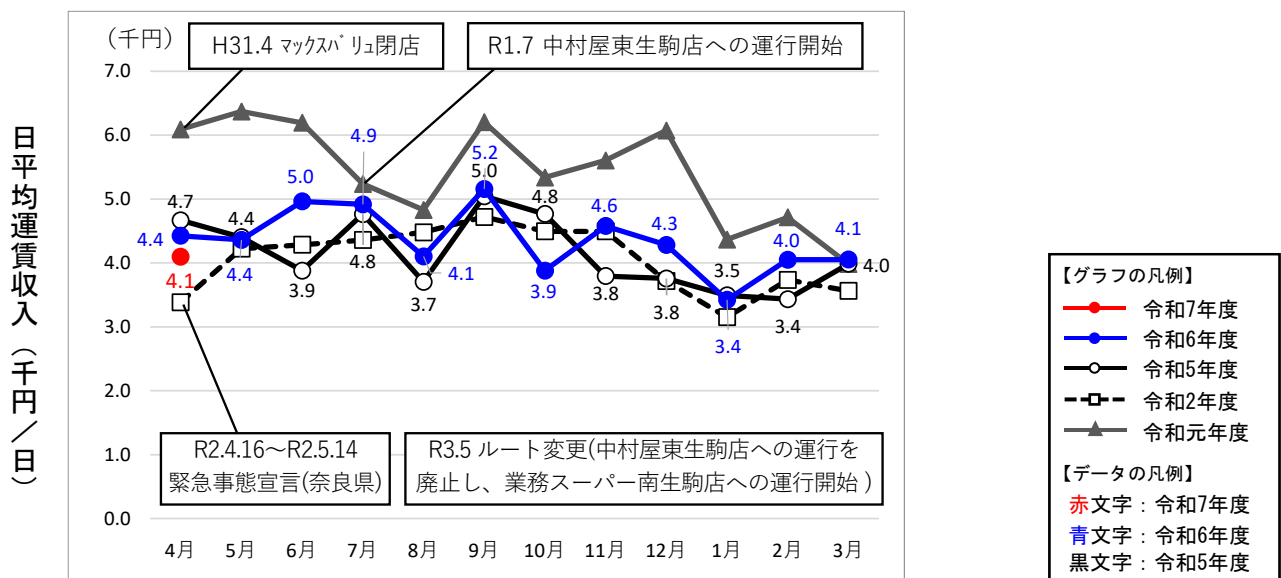
3. 西畑・有里線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、緊急事態宣言が発令された令和2年4月及び5月は大きく減少していたが、解除された令和2年6月以降は季節変動等の影響による増減を繰り返しつつ利用者数を維持している。令和7年1月以降は増加傾向にあったが、令和7年4月は前年同月を下回っている。
- ・運賃収入（日平均運賃収入）は、利用者数と同様に、令和7年1月以降は増加傾向にあったが、令和7年4月は前年同月を下回っている。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】

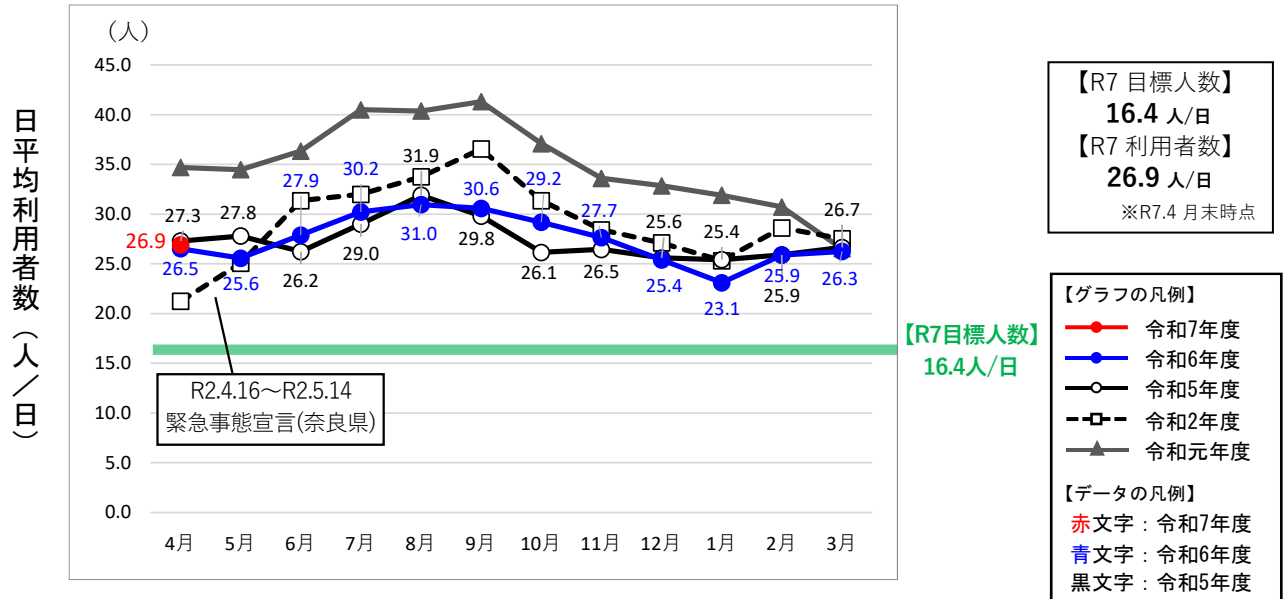


※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

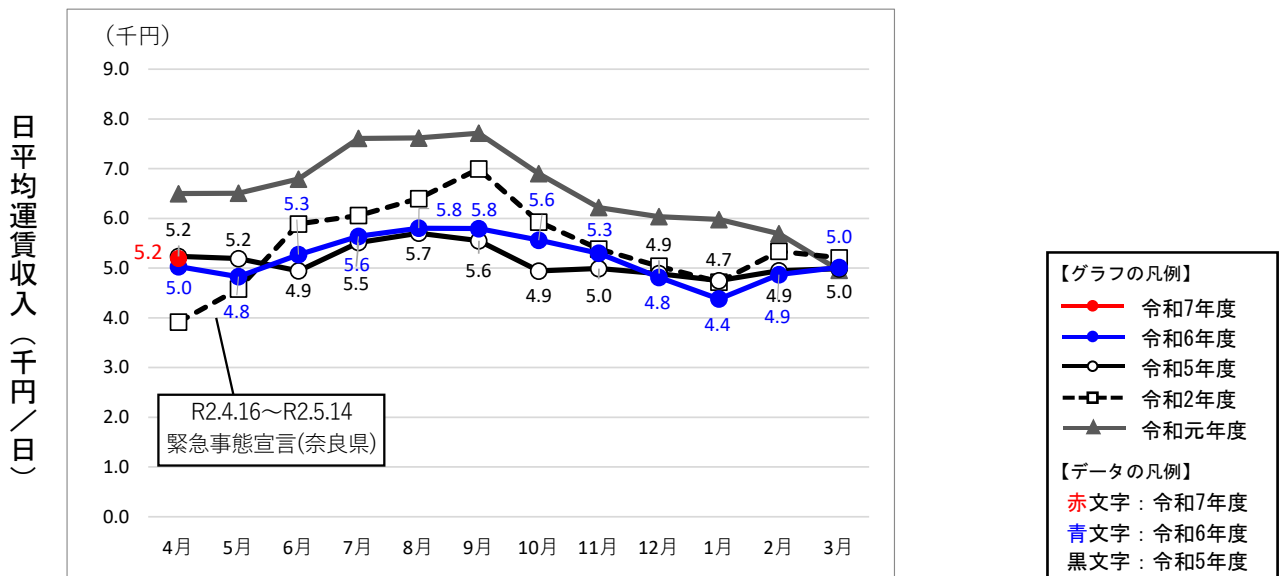
4. 北新町線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、緊急事態宣言が発令された令和2年4月及び5月は大きく減少していたが、解除された令和2年6月以降は季節変動等の影響による増減を繰り返しつつ利用者数を維持している。令和7年1月以降は増加傾向にあり、令和7年4月は前年同月と同程度である。
- ・運賃収入（日平均運賃収入）は、利用者数と同様に、令和7年1月以降は増加傾向にあり、令和7年4月は前年同月と同程度である。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】

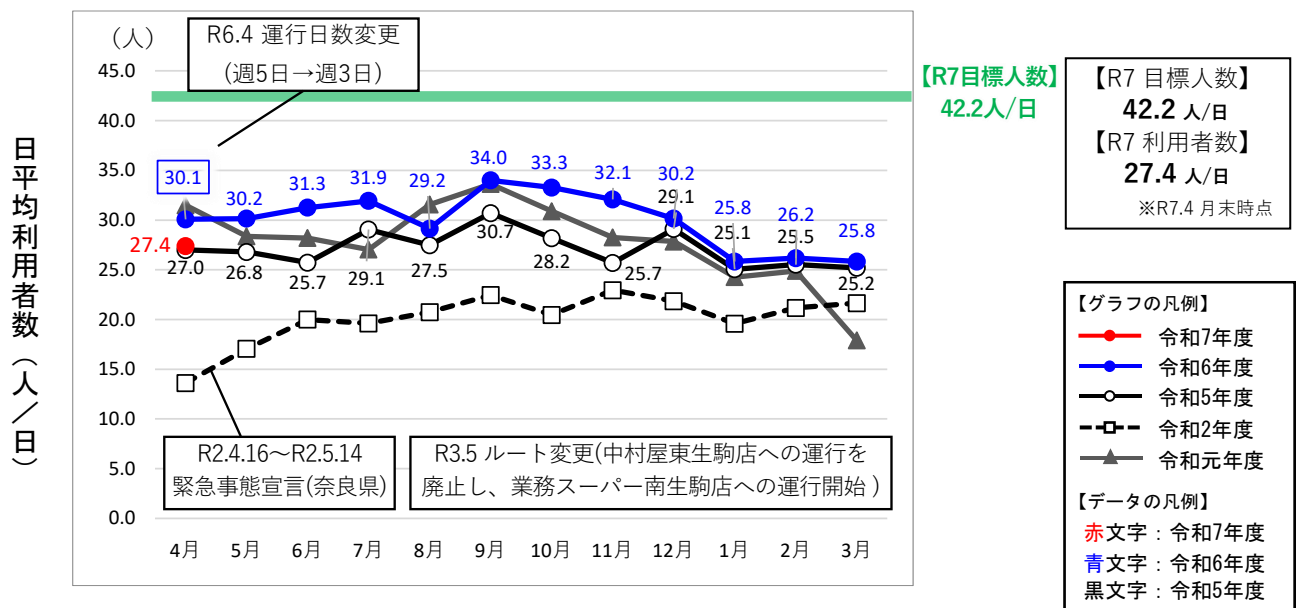


※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

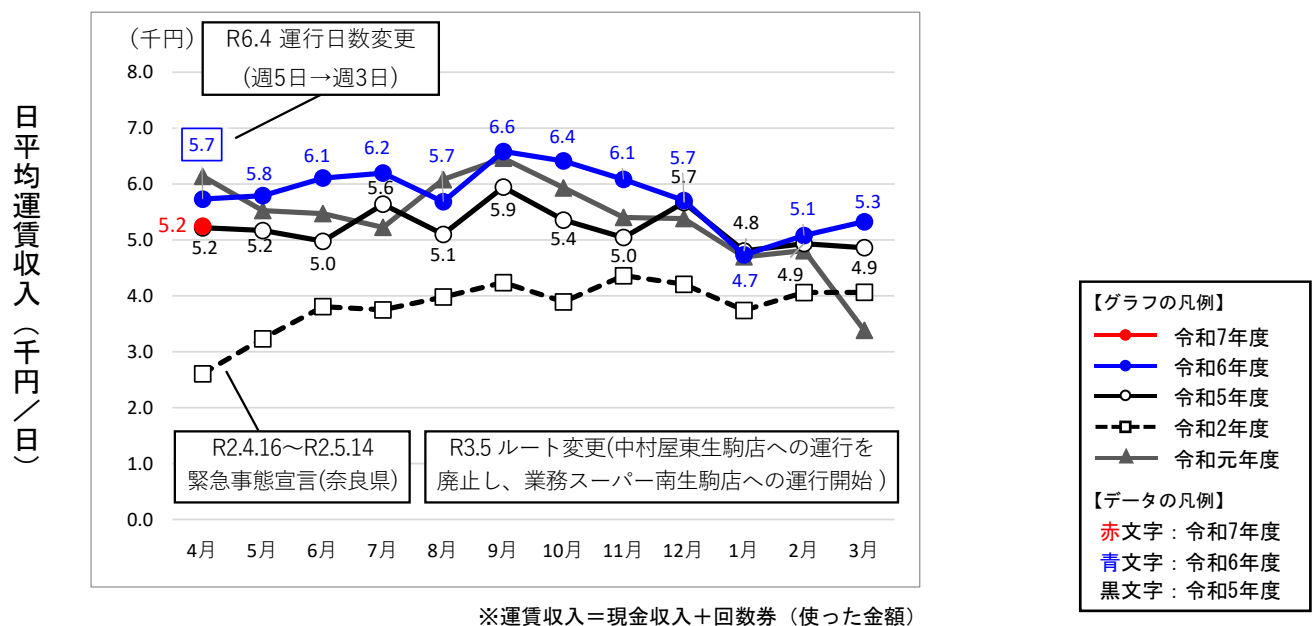
5. 萩の台線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、緊急事態宣言が発令された令和2年4月及び5月は大きく減少していたが、解除された令和2年6月以降は季節変動等の影響による増減を繰り返しつつ利用者数を維持している。運行日数を週3日に縮小した令和6年4月以降は前年同月を上回っている。令和7年1月以降は増加傾向にあるが、令和7年4月は前年同月を下回っている。
- ・運賃収入（日平均運賃収入）は、利用者数と同様に、令和7年1月以降は増加傾向にあるが、令和7年4月は前年同月を下回っている。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



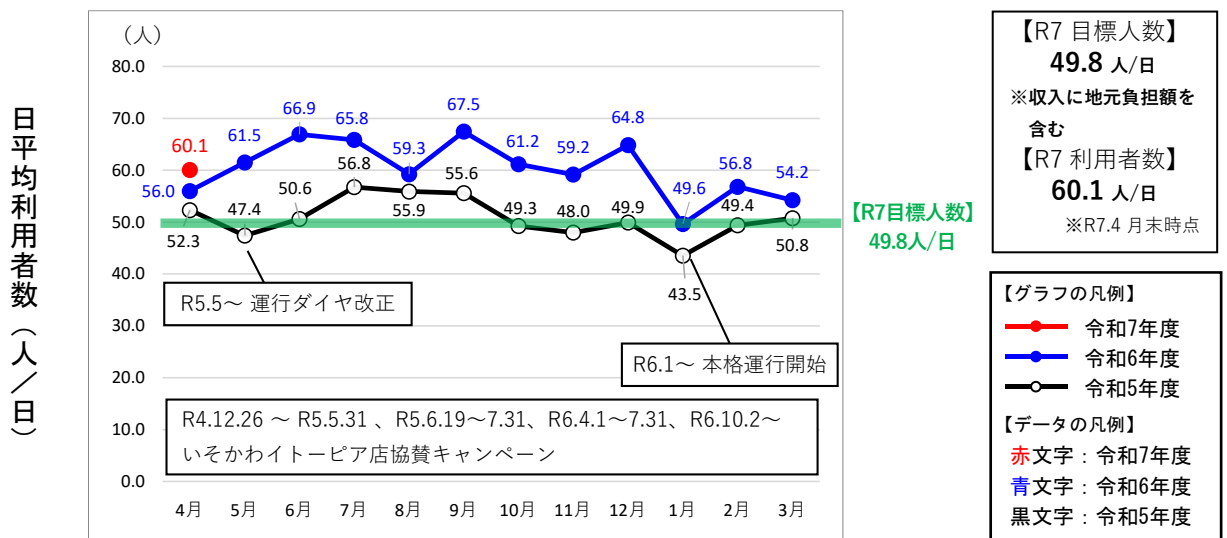
【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】



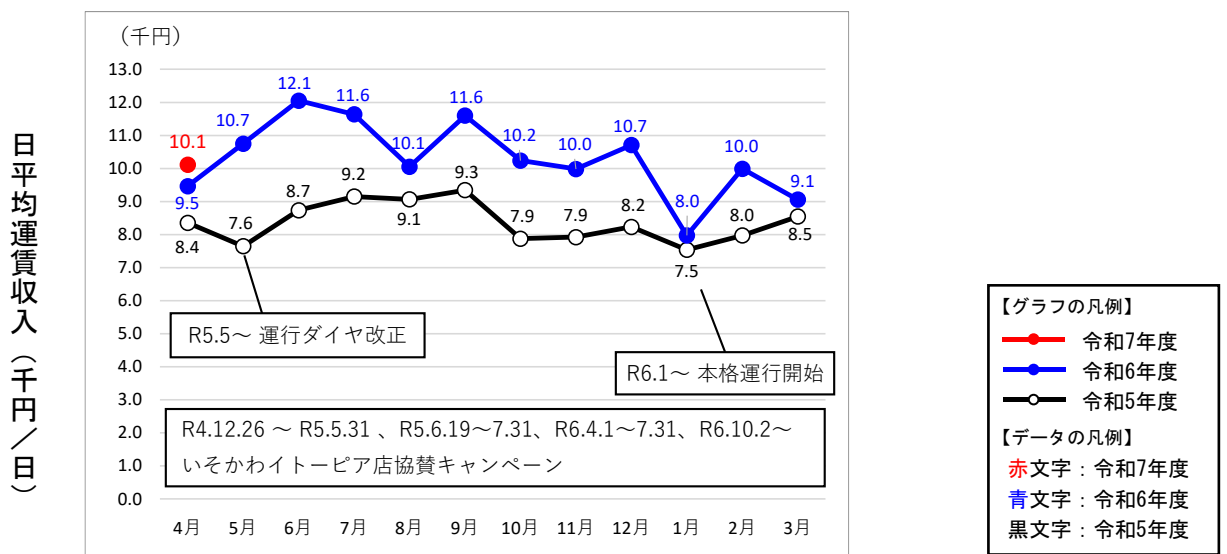
6. 鹿ノ台線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、本格運行を開始した令和6年1月から7月にかけては地元スーパー協賛のキャンペーン等の影響で増加傾向にあった。令和6年8月以降は、増減を繰り返しながら利用者数を維持している。令和7年1月以降は令和7年3月で一度減少したが全体では増加傾向にあり、令和7年4月は前年同月を上回っている。
- ・運賃収入（日平均運賃収入）は、利用者数と同様に、本格運行を開始した令和6年1月から7月にかけては地元スーパー協賛のキャンペーン等の影響で増加傾向にあった。令和6年8月以降は、増減を繰り返しながら利用者数を維持している。令和7年1月以降は令和7年3月で一度減少したが全体では増加傾向にあり、令和7年4月は前年同月を上回っている。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】

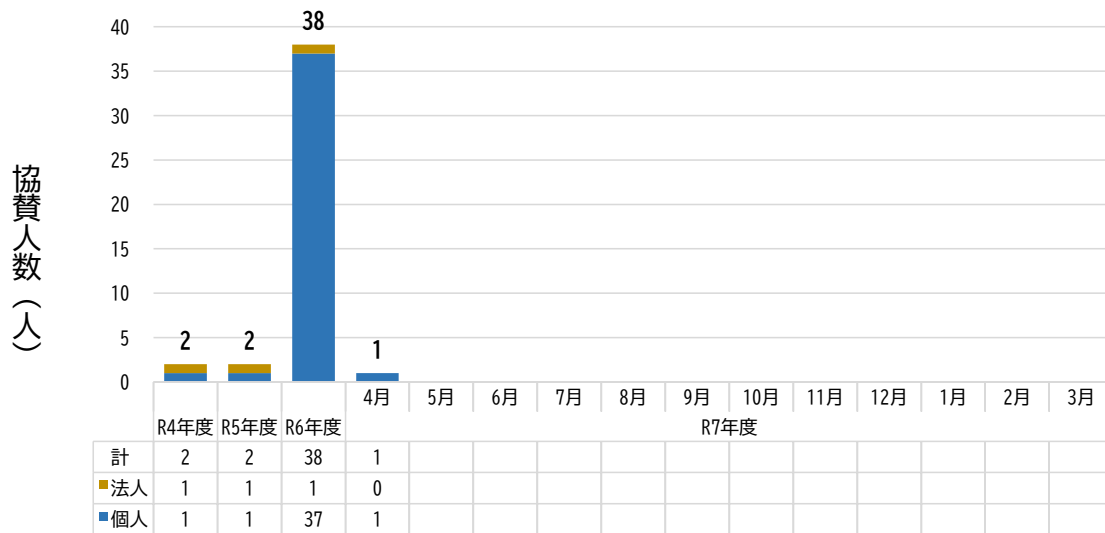


※運賃収入＝現金収入（回数券利用はなし）

7. コミバス「たけまる号」サポーター制度の申込状況

- ・生駒市では、地域の足である「たけまる号」を住民や法人の皆様と一緒に支えていく制度として、令和 4 年 4 月 1 日からコミバス「たけまる号」サポーター制度を導入している。個人は 1 口 500 円、法人は 1 口 5,000 円から申込可能で、応援したい路線に対する協賛口数を指定することができる。サポーター（協賛者）は希望すると市 HP やバス車内に名称掲載が可能となる特典がある。
- ・サポーターを増やしていくための令和 5 年度の実施として、オンライン申請導入、チラシを作成しバス車内や各公共施設へ配布、広報誌への掲載等を行った。
- ・その結果、令和 6 年度は協賛人数が 38 人、協賛金額が計 152,000 円であり、令和 4 年度や令和 5 年度と比べて、大きく増加した。
- ・令和 7 年度の申込状況は、4 月末時点で協賛人数が計 1 名（個人 1 名、法人 0 名）、協賛金額が計 1,000 円である。

【協賛人数・法人数の推移】※R7 年度は各月の積み重ね



【協賛金額の推移】※R7 年度は各月の積み重ね

